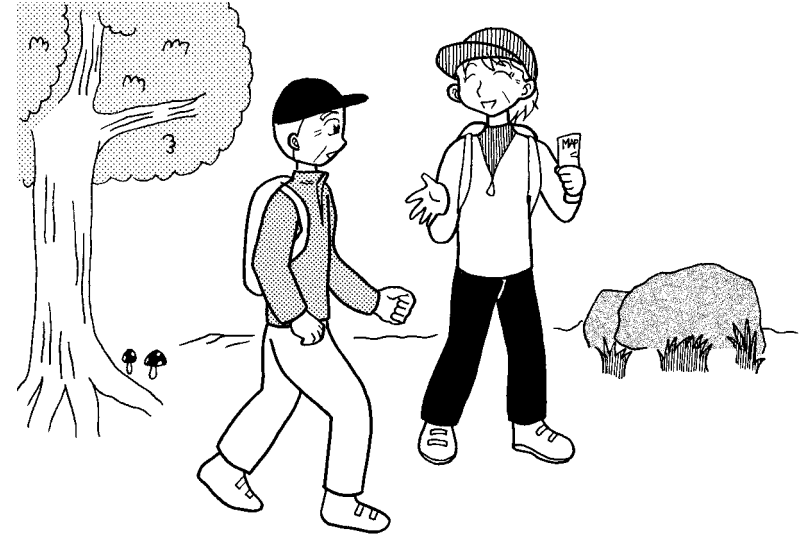


Wavelet 表面筋電図周波数解析 を用いた歩行時の質的筋活動分析

研究代表者 吉備国際大学 加藤 浩

近年、国内において、高齢者の転倒や骨折は寝たきりの原因の12%を占めている。転倒や骨折の予防の一つとして、下肢の筋力増強訓練があげられます。この訓練により筋力が向上しても、歩行の安全性などの実際の歩行動作における能力の向上が認められない場合が多い。

本研究は wavelet 変換という新しい方法を開発の一環として行われたものであります。実験結果から、下肢の各筋の活動は総仕事量という量的側面に加え、それぞれ固有の運動単位の調節機能という質的側面の違いを有しており、歩行時の質的筋活動を評価することが、重要であるということがわかりました。



下肢の筋力増強訓練では、歩行時の質的筋活動の評価も重要である

